

第 30 回

# 小さな展覧会



コ-ナ-展示：故上田正昭前理事長追悼展示  
史跡乙訓古墳群発掘成果展示

2016 8/13 (土) ~ 8/28 (日)

## 展覧会開催にあたって

「小さな展覧会」は、京都府内で行われた発掘調査の成果を出土遺物や写真などによって紹介し、府民の皆さまをはじめ多くの方々に埋蔵文化財への理解を深めていくことを目的として開催しています。

本展覧会では、弥生時代から室町時代にかけての集落跡である舞鶴市大川遺跡や、70基に及ぶ横穴が検出された京田辺市松井横穴群など、平成26・27年度において当調査研究センター及び関係各機関が京都府内で実施した主な発掘調査の成果を併わせて速報展示します。

また、日本古代史研究の第一人者であられた故上田正昭前理事長の追悼展示と平成27年度に国の史跡として指定された乙訓古墳群の発掘調査成果をご紹介します。

展示にあたっては、よりわかりやすく、親しみやすいものとなるように心がけましたのでお楽しみいただければ幸いです。

今回の展覧会にご協賛をいただいた向日市文化資料館をはじめ、ご後援をいただいた京都府教育委員会、様々なご協力を賜った各関係機関に対し、深く感謝いたします。

平成28年8月

公益財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター  
理事長 井上満郎

### 凡例

1. 本書は、「第30回小さな展覧会～平成26・27年度京都府内遺跡発掘調査成果速報～」(平成28年8月13日～8月28日に開催)の展示図録です。
2. 展示資料は、公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センターおよび各機関が主として平成26・27年度に発掘調査および整理作業を行った遺跡・遺物を対象としました。
3. 展覧会期間中の8月20日(土)に第133回埋蔵文化財セミナーを開催します。
4. 資料調査・図録作成・展示・資料および写真借用にあたっては次の個人・機関からご協力をいただきました。(順不同・敬称略) 上田まゆみ、大阪大学、与謝野町教育委員会、舞鶴市市民文化環境部地域づくり・文化スポーツ室文化振興課、京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、公益財団法人向日市埋蔵文化財センター、長岡京市教育委員会、公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター、大山崎町教育委員会、宇治市歴史まちづくり推進課、城陽市教育委員会、京田辺市教育委員会、木津川市教育委員会、京都府教育委員会
5. 裏表紙の展示遺跡位置図には、本書で解説していない展示遺跡を含んでいます。
6. 本図録は、京都府立山城郷土資料館と京都府立丹後郷土資料館の協力を得て作成しました。

(表紙写真 宇治市平等院旧境内遺跡出土 左から宝相蓮華文軒丸瓦、蓮華文軒丸瓦、蓮華文軒丸瓦)

# 丹後の遺跡

## 大川遺跡

舞鶴市字大川地先

当調査研究センター調査

おおかわ ゆらがわ  
大川遺跡は由良川左岸に広がる弥生時代から室町時代の集落跡です。

弥生時代中期の方形周溝墓の溝からは、壺の胴部に円窓をあけた台付壺や高杯、甕などが出土しました。方形周溝墓より北側では、後期の円形の堅穴建物群が見つかりました。

古墳時代では、堅穴建物のほか高杯や甕、多くの白玉とガラス小玉が出土した穴を確認しており、祭祀が行われたようです。また、集落のはずれでは、須恵器の特殊扁壺や提瓶などが出土しました。

平安時代から室町時代では、多くの輸入陶磁器や他地域の陶磁器が出土しました。由良川を利用した盛んな商業活動がうかがえます。



遺跡の上空からみた調査地と由良川（南西から）

## 展示ピックアップ

大川遺跡では、たくさんの井戸が見つかりました。その中のひとつに平安時代後期～鎌倉時代の丸木舟を井戸枠として再利用したのがあります。

使えなくなった舟を2つに割り、井戸枠として邪魔になる舟の艫と舳を切り落としたうえで再利用しています。



丸木舟を再利用した井戸（南から）〔高さ約 1.5 m〕

# 丹波の遺跡

## 出雲遺跡・三日市遺跡・車塚遺跡

亀岡市千歳町千歳 当調査研究センター調査



粘土採掘穴（北東から）

<sup>いずも</sup>出雲遺跡では、古墳時代とみられる竪穴建物と平安時代から鎌倉時代の柱穴などが見つかりました。平安時代後期を中心に遺跡の南側にも集落が広がることがわかりました。

<sup>みっかいち</sup>三日市遺跡では、近世に掘られた多くの粘土採掘穴が見つかりました。

<sup>くるまづか</sup>車塚遺跡では、旧石器時代に鹿児島県から飛来した火山灰が約25cmの厚さで見つかりました。その積もり方から当時、付近は湖沼と湿原であることがわかりました。

## 篠窯業生産遺跡群 西山1号窯

亀岡市篠町王子西長尾

大阪大学考古学研究室調査



西山1-1号窯（南から）

<sup>しのようぎょうせいさんいせきぐん</sup>篠窯業生産遺跡群は、亀岡盆地の南東部の丘陵上にある総数百数十基からなる奈良・平安時代の窯跡の総称です。<sup>にしやま</sup>西山1号窯は<sup>うのかわ</sup>鵜ノ川南岸のやや東側にあり、2つの窯跡が調査されました。

西山1-1号窯は、三角形の小型の平窯で、<sup>たきぐち</sup>焚口が2か所あります。主に須恵器を焼成し、<sup>りよくゆうとうき</sup>緑釉陶器や瓦も少量ですが生産していたことがわかりました。



西山1-2号窯（南から）

西山1-2号窯は、<sup>だえん</sup>楕円形状の床面が傾斜した小型の平窯で、焚口が1か所あります。この窯では、瓦と須恵器が同時に焼成されました。鵜ノ川南岸で瓦を生産した窯としては最古の窯です。

西山1号窯の調査では、平安時代後期に篠窯業生産遺跡群が須恵器生産から瓦生産へ徐々に遷り変わっていく様子が明らかになりました。

# 山城の遺跡

## 寺町旧域・法成寺跡

京都市上京区寺町通荒神口下る

当調査研究センター調査



整然と並んだ墓跡（西から）



丁寧に埋納された墓碑（東から）

豊臣秀吉は、天正18（1590）年に京都の町割りの再編を行い、数多くの寺院を鴨川西岸に移転させ「寺町」を形成しました。調査地一帯はその後、宝永5（1708）年の大火によって消失し、各寺院は他所へ移転します。

今回の調査では、近世初頭に建てられた寺院に伴う建物跡や井戸、溝、墓地などを確認しました。特に墓地は、寺町通りから見て本堂の裏手にあり、328基の墓穴が南北に列をなし整然と並んでいました。火葬墓もありますが、その多くは土葬墓で、木棺や大型の甕を使用していました。副葬品には肥前陶磁器、銭、煙管、数珠、犬形土製品、土鈴など様々なものがあります。当時の墓制や葬制を考える上で貴重な成果といえます。また、墓に伴うものとして、数多くの墓碑が出土しました。宝永大火後の移転の際に投棄されたものが大半ですが、互い違いに丁寧に重ねて埋納されているものや井戸枠に転用されたものもありました。

## 展示ピックアップ



陶棺（松井横穴群）〔全長 85.9cm〕

骨を入れるために天井部を長方形に切り抜き、蓋を架けています。



特殊扁壺（大川遺跡）〔直径 11.3cm〕

中央には、棒状の柄が折れた痕があり、儀礼用の杓として使われた可能性があります。

## 平安京跡・東本願寺前古墓群 京都市下京区烏丸通七条下る

当調査研究センター調査



調査地全景（東から）



たくさんの土師器が埋められた穴（東から）

調査地は、平安京跡左京八条三坊九町のほぼ中央にあたります。当地は、平安時代後期から室町時代にかけて、手工業に携わった職人たちの町である七条町や八条院しちじょうまち はちじょういんしょうしの邸宅を中心に形成された八条院町があり、商業の中心として栄えまし

た。

また、室町時代には、骨蔵器こつぞうきを用いた墓や河原石を積み上げた墓、たくさんの土器を埋納した墓、木棺墓どこうぼ、土壙墓ひがしほんがんにまゑこぼぐんなどがある東本願寺前古墓群が形成されました。

今回の調査では、宅地を区画する溝や柱穴、井戸などが見つかりました。また、調査地では小区画ごとに小規模な建物が建てられていました。出土した生産道具や鉄の未製品や素材から、金工品などの手工業に携わった職人たちが生活していたことをうかがうことができます。付近で見つかった穴には、たくさんの土師器はじきの皿が埋められていましたが、見つかった状況から捨てたのではなく、敷地内で何らかの儀式に使用した後に埋納したと考えられます。また、一部の穴からは骨片が出土し、墓の可能性のあるものも含まれています。

## 長岡京跡右京第1112次

長岡京市長岡 公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター調査



巨大な掘立柱建物（北西から）

調査地は、長岡京跡右京四条三坊四町にあたります。昭和初期に清水焼の工房があり、「陶器町とうきまち」の名が伝えられています。小型の人物陶や窯道具など、陶器町に関する遺物が出土しました。

その下層からは、全体の規模は不明ですが、屋内棟持柱おくないむなもちしらを持つ東西7m以上、南北16m以上の大型建物が見つっています。古墳時代後期の須恵器が出土しており、有力者の居館の一部と考えられます。

調査地は、宇治川の分流である塔の川の河床で、世界文化遺産平等院の東側に位置します。平等院は、父藤原道長から宇治の別業（別荘）を継承した藤原頼通により、永承7（1052）年に寺院として創建されました。その後、康和3（1101）年以降に藤原忠実によって平等院の大規模な改修が行われたといわれます。平安時代には、宇治川に張り出した釣殿という建物があり、室町時代後期まで残存していたと伝えられます。

釣殿があったと伝えられる地点付近の調査では、釣殿に関する遺構は見つかりませんでした。しかし、平安時代の瓦が多数出土しました。付近に平等院に関する何らかの建物があったのかもしれませんが。

また、川岸を急激な流れから保護するために打たれた杭群や、木杭と河川礫で造られた堤状遺構も見つかりました。木杭の年代測定を行ったところ、室町時代から近世の年代を示すものがありました。長年にわたって宇治川の治水に苦勞していた様子がうかがえます。



川岸を保護するための杭と堤状遺構（北西から）

大久保環濠集落跡 宇治市大久保町



玉作りが行われた竪穴建物（東から）

大久保環濠集落跡は、中世の濠に囲まれた環濠集落と考えられており、周辺では中世の鑄造工房が確認されています。今回の調査では、古墳時代から中世までの遺構が見つかりました。

古墳時代の竪穴建物からは、製作途中の滑石製の白玉などが見つかり、集落内で玉作りが行われていたことがわかりました。また、別の竪穴建物からは、須恵器や土師器、製塩土器が出土しました。

大久保環濠集落跡の下層で見つかった古墳時代の集落は、出土した遺物から、城陽市から宇治市南部にかけて分布する久津川古墳群における車塚古墳・芭蕉塚古墳などと同じ古墳時代中期であることがわかりました。城陽市内では、同時期の集落が確認されていないことから、久津川古墳群の造営にあたって重要な役割を担った集落の可能性がります。



造り出しで見つかった埴輪列（南東より）

食物を模した土製品や土器が出土したことから、儀礼空間として使われていたことがわかりました。造り出しの利用方法を考える上で重要な成果といえます。

久津川車塚古墳は、復元墳丘長約 180 m の南山城地域最大の前方後円墳であり、国の史跡に指定されています。

平成 26・27 年度には西側の造り出しの調査を行いました。造り出しは南北に長く、平坦面周囲を埴輪列で囲っていました。造り出しの南側で埋葬施設と思われる遺構が見つかりました。その上では大型の家形埴輪の破片を含む多数の埴輪が出土しました。また、北側では、

## 下水主遺跡

城陽市寺田

当調査研究センター調査

下水主遺跡は、城陽市南部の木津川右岸の平野部に広がる遺跡です。

北に位置する調査区では、洪水によって地面が抉られてできる「氾濫流路」から、縄文時代晩期の土器が出土しました。また、弥生時代中期の土坑からは、多数の土器が出土しました。

その南 170 m の調査区では古墳時代前期の溝が見つかり、木材を精緻に加工し、檜皮を挟んで組み上げた窓枠状の木製品が出土しました。

一方、最も南の調査区では古墳時代前期の大規模な溝が見つかり、護岸施設とともに大量の土器や木製品が出土しました。木津川から船を引き込んでいた可能性があります。また、飛鳥時代の井戸や土坑、柱穴なども見つかり、多数の土器が出土しました。

下水主遺跡では、弥生時代後期の竪穴建物のみ確認していますが、一連の調査でそれぞれの時代の土器が多数出土したことから、調査地周辺に人々が住んでいたと考えられます。また、100 基を超える中世の島畑を確認しています。



古墳時代前期の溝と護岸施設（南東から）



窓枠状木製品の出土状況（北から）



埴輪出土状況（南西から）

御毛通古墳群は、八幡市と京田辺市の境にある丘陵上に立地する古墳時代中期前半の古墳群です。平成4年に初めて確認され、これまでの調査で、方墳と円墳が1基ずつ見つっています。

今回の調査で、御毛通2号墳の北西側の周溝が新たに見つかりました。これまでの調査成果と合わせると直径約22mの円墳と考えられます。周溝からは、鶏形埴輪、甲冑形埴輪、盾形埴輪などが出土しました。



鶏形埴輪、盾形埴輪、草摺形埴輪



甲冑形埴輪



女谷・荒坂横穴群（東から）

古墳時代後期から飛鳥時代の女谷・荒坂横穴群は、これまでの調査で80基の横穴が見つかりました。平成27年度に新たに7基の横穴が見つかりました。遺物が出土した横穴は1基だけで、土器や人骨・耳環が出土しました。土器には、土師器の高杯や須恵器の長頸壺があります。人骨は、少なくとも2人分の骨が重なり合うように見つかり、新たな死者を埋葬する際に脇に寄せられたと考えられます。

今回の調査で横穴群が南へ広がることわかりました。これまでの成果から女谷・荒坂横穴群には、300基近い横穴が造られたと推定できます。



松井横穴群（西から）

松井横穴群は、八幡市との市境に近い京田辺市の北部の丘陵地帯にあります。今回の調査では、古墳時代後期から奈良時代前半にかけての横穴が70基見つかりました。

横穴内部からは、人骨や土器、釘や矢じりなどの鉄製品などが出土しました。頭の骨の近くに足の骨があるなど、遺体が白骨化した後に動かされていることがわかりました。また、複数体の人骨が見つかった横穴もあり、1つ

の横穴を家族などで利用し続けていたと考えられます。

京田辺市から八幡市にかけては、女谷・荒坂横穴群や松井横穴群などを合わせると600～700基の横穴が存在すると考えられています。横穴が造営された古墳時代後期には、畿内を中心に横穴式石室からなる群集墳がたくさん造られますが、木津川流域ではそのような群集墳は少なく、横穴が多いのが特徴となっています。この地域の横穴はその数から考えて、横穴群の造られた木津川左岸のみならず、流域全体に暮らした人々の墓地であった可能性があります。



人骨出土状況（東から）



塔跡の心礎（南から）

史跡高麗寺跡は、飛鳥時代初めに渡来系氏族である狛（高麗）氏が創建した寺院であると考えられています。見つかった軒瓦に日本最古の寺院とされる飛鳥寺と同じ範のものがあ、京都府内で最も古い寺院の一つです。また、飛鳥時代後半に伽藍などの大規模な整備が行われ、鎌倉時代には廃絶します。

今回は、史跡整備のために塔跡の再調査を行いました。塔跡の心礎は平面五角形の花崗岩製で、南面には舍利を納めるための孔が穿たれていました。また、後世に石を割って取り出そうとした矢孔の跡もみられます。



宝幢（幢旗）の柱跡（南から）

史跡<sup>くいきゅうあと</sup>恭仁宮跡は、天平 12（740）年に<sup>しょうむ</sup>聖武天皇が平城京から遷都し、現在の木津川市に造られた恭仁京の中心部です。

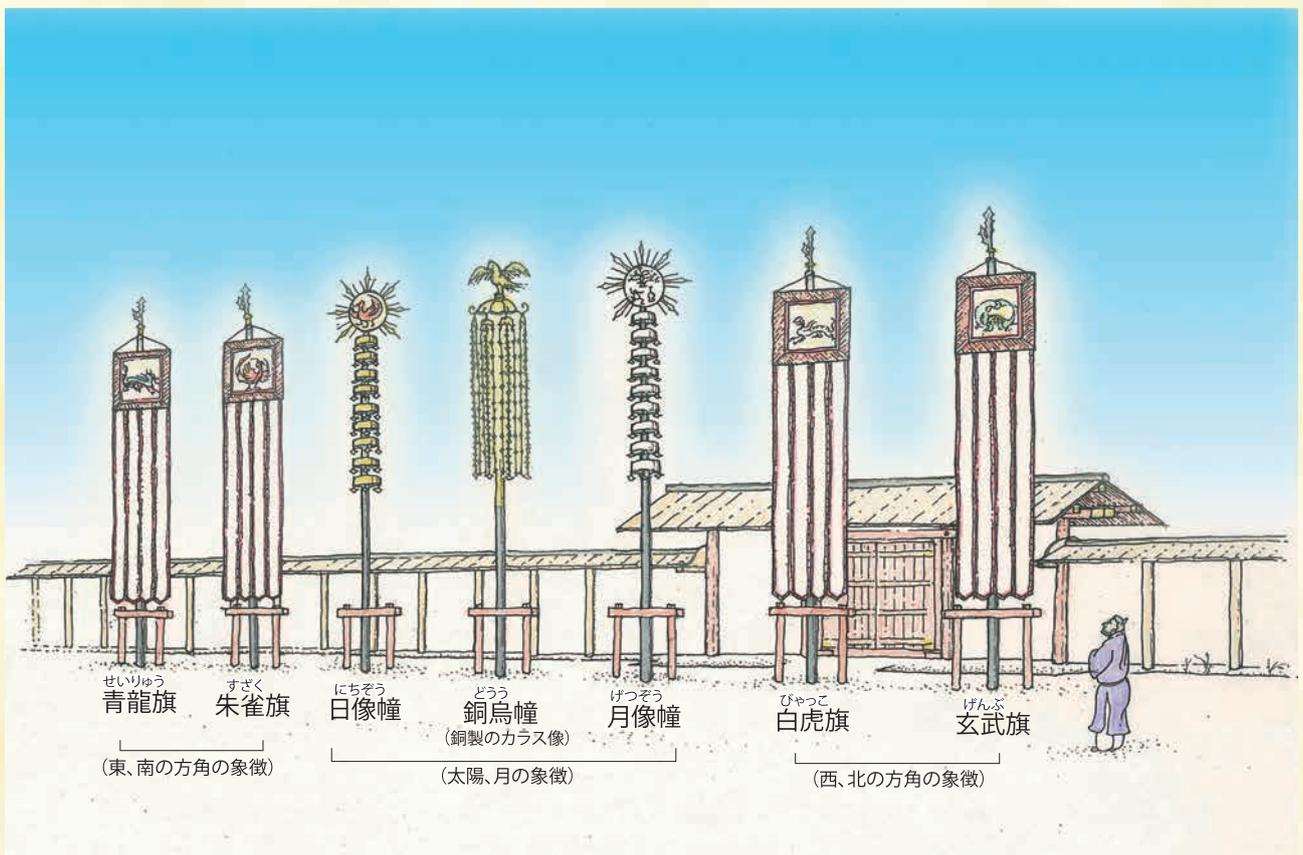
今回の調査では、朝堂院地区<sup>ちやうどういん</sup>の南部<sup>ほうとう</sup>で宝幢<sup>ほうとう</sup>（幢旗<sup>どうき</sup>）遺構を確認しました。宝幢（幢旗）とは、天皇が元日に行う儀式や天皇の即位儀礼の際に立てられた<sup>はたご</sup>旗竿です。

『<sup>しよくにほんぎ</sup>続日本紀』によると、恭仁宮では最初の 2 年間<sup>だいごくでん</sup>は大極殿が完成していなかったため、元日

の儀式を仮の場所で行ったとあります。

今回見つかった宝幢は、朝堂院の南辺付近の同じ場所に 2 回立てられていたことがわかりました。このことから『続日本紀』に記述された場所と考えられます。

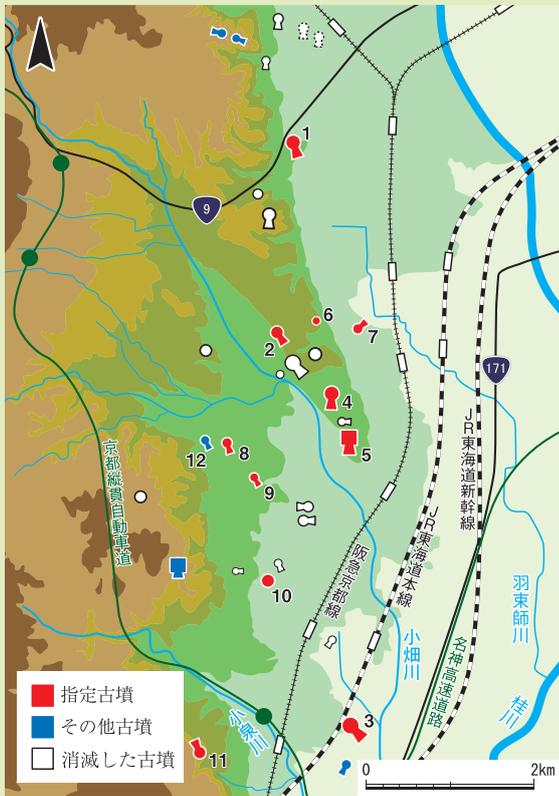
恭仁宮では、大極殿が完成するまでの間、元日の儀式で 2 年連続で朝堂院南辺において宝幢を立てていたことが明らかになりました。宝幢を立てた儀式は、大宝元（701）年、藤原宮で行われていたとされていますが、現在のところ、今回見つかった宝幢遺構よりも古い遺構は見つかっていません。



宝幢（幢旗）遺構の復元イメージ画（京都府教育委員会提供）

## コーナー展示

# 史跡乙訓古墳群発掘調査成果



乙訓古墳群古墳分布図

おとくにこふんぐん  
乙訓古墳群とは、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町に分布する古墳の総称です。

平成 27 年度に、従前より史跡であった京都市天皇の杜古墳、向日市寺戸大塚古墳、長岡京市恵解山古墳の 3 基に加え、新たに向日市南条古墳、物集女車塚古墳、五塚原古墳、元稲荷古墳と長岡京市井ノ内車塚古墳、井ノ内稲荷塚古墳、今里大塚古墳、大山崎町鳥居前古墳を新たに加わえ、11 基の古墳を統合し、古墳時代前期初頭から終末期までの首長墓が含まれる国内でも類例のない古墳群として国の史跡に指定されました。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 天皇の杜古墳 | 7. 物集女車塚古墳  |
| 2. 寺戸大塚古墳 | 8. 井ノ内車塚古墳  |
| 3. 恵解山古墳  | 9. 井ノ内稲荷塚古墳 |
| 4. 五塚原古墳  | 10. 今里大塚古墳  |
| 5. 元稲荷古墳  | 11. 鳥居前古墳   |
| 6. 南条古墳   | 12. 芝 1 号墳  |

## 五塚原古墳

向日市寺戸町芝山

公益財団法人向日市埋蔵文化財センター・立命館大学調査



斜路状平坦面（北東から）

いつかはら  
五塚原古墳は、墳長 91 m を測る古墳時代前期の前方後円墳で、丘陵上に立地しています。また、埴輪は見つかっていません。古墳の形や造り方が奈良県箸墓古墳と共通した特徴を持つ最古の前方後円墳の一つと考えられています。

平成 26・27 年度の調査で、後円部はほぼ円形で、前方部が細長く先端が広がっている形であることがわかりました。

さらに 2 段に築かれた前方部 1 段目の平坦面が先端に向けて高くなるのに合わせて斜路となっています。この平坦面は、後円部の 1 段目より低い位置にあるためつながりません。これも箸墓古墳と共通する特徴です。

## 鳥居前古墳

乙訓郡大山崎町字円明寺小字鳥居前

大山崎町教育委員会調査



後円部第2段平坦面埴輪列と葺石（南東から）

鳥居前古墳は、墳長 54.4 m を測る古墳時代前期末から中期初頭の前方後円墳で、丘陵上に立地しています。周溝はなく、墳丘には葺石と埴輪列が施されています。

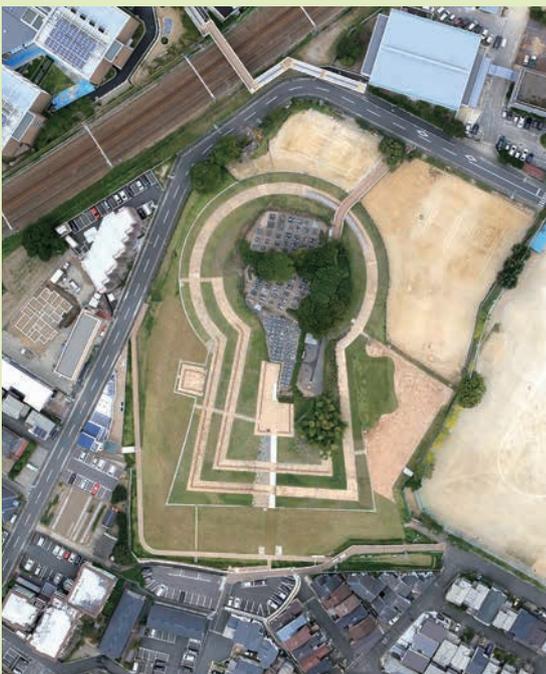
平成 22 ～ 26 年度の調査では、墳丘 1 段目から 3 段目までの基底石と葺石、埴輪列を確認しました。また、前方部西側の裾を推定することができました。墳丘は西側が地山を削って造りますが、東側の急傾斜の所は土を盛って造っていました。また、

東からの見栄えを意識してか、墳丘の東側 1 段目の下にはさらに「最下段」が造られていました。

## 恵解山古墳

長岡京市勝竜寺・久貝

長岡京市教育委員会調査



恵解山古墳墳丘整備後全景（上が北西）

恵解山古墳は、墳長 128 m を測る古墳時代中期の前方後円墳で、低位段丘から氾濫原上に立地しています。葺石、埴輪を持つ乙訓地域最大の古墳です。

平成 23 ～ 26 年度に保存整備事業に伴う発掘調査が実施され、復元整備された古墳公園として平成 26 年 10 月に開園しました。

保存整備に伴う調査において、墳丘の西半部と東半部では、その造り方に違いがあることを再確認しました。また、前方部幅と墳丘裾の位置が明らかになりました。さらには、前方部先端付近で鶏形埴輪と家形埴輪がまとまって出土したことから形象埴輪を置くための区画があった可能性があります。

## 井ノ内車塚古墳 長岡京市井ノ内

公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター調査



造り出しの検出状況（北西から）

今回の調査では、埋葬施設や造り出しでの祭祀を解明する上で重要な成果が得られました。

<sup>いのうちくるまづか</sup>井ノ内車塚古墳は、墳長 39 m を測る古墳時代後期の前方後円墳で、低位段丘上に立地しています。周溝があり、墳丘上に葺石はありません。また周溝内から多数の埴輪が見つっています。

平成 27 年度の調査では、後円部の中心に近い場所から石材に伴って須恵器と赤色顔料が見つかりました。これらは横穴式石室に関するものと考えられます。

西側の造り出し付近の周溝から、家、蓋、<sup>きぬがさ</sup>巫女、<sup>みこ</sup>馬、<sup>いわみ</sup>犬、石見型盾など、さまざまな種類の形象埴輪が出土しました。



埴輪出土状況（北から）

## 芝 1 号墳 京都市西京区大原野石見町

京都市調査



横穴式石室と副葬された須恵器（北から）

<sup>しば</sup>芝 1 号墳は墳長 32.7 m を測る前方後円墳で、低位段丘上に立地しています。周溝があり、墳丘上に葺石はありません。また、埴輪が見つっています。

平成 26・27 年度には、国の史跡指定に向けた調査を行いました。その結果、府内最古級の横穴式石室を確認しました。石室から出土した須恵器から、古墳時代後期に築造されたことがわかりました。

## 故上田正昭前理事長を偲んで

上田正昭先生が、平成 28 年 3 月 13 日（日）、享年 88 歳でお亡くなりになりました。

当調査研究センターでは、昭和 62 年 4 月から故岸俊男先生の後任として理事に、平成 15 年 4 月からは理事長にご就任いただいております。

上田先生は、東アジア全体を視野に入れた日本古代史研究の第一人者であられたばかりでなく、亀岡市の<sup>おぼた</sup>小幡神社の宮司をお務めになりながら、人権問題や国際交流、そして、生涯学習などに力を注がれました。また、平成 13 年には、宮中歌会始の<sup>めしうど</sup>召人にも選ばれました。

当調査研究センターにおきましては、記念講演会などで数多くのご講演をいただくとともに、職員に対して、年始や辞令交付式でのごあいさつをはじめ、理事会や発掘調査現地で、地域の歴史を明らかにすることへの真摯な姿勢を常にご指導いただきました。

上田先生より賜りましたご指導に心より感謝を申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。ここにご遺族からご貸与いただきました品々で上田先生をお偲びする展示を企画いたしました。



設立 30 周年記念講演会 記念講演（於：向日市民会館）



第 28 回小さな展覧会をご視察（於：向日市文化資料館）

## 展示遺跡位置図



第 30 回小さな展覧会 会期：平成 28 年 8 月 13 日～8 月 28 日

編集・発行 公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内 40-3 Tel.075-933-3877 Fax.075-922-1189

ホームページアドレス <http://www.kyotofu-maibun.or.jp> 印刷 三星商事印刷株式会社